

国道 169 号（下北山村）の崩土事故の対応状況 （令和 5 年 12 月 23 日）

（令和 5 年 12 月 26 日 ○時現在）

県土マネジメント部道路マネジメント課 植谷（内線 4150）
TEL 0742-27-7543
総務部知事公室消防救急課 森本（内線 2280）
TEL 0742-27-8423

1. 路線

国道 169 号

2. 場所

吉野郡下北山村大字上池原

3. 災害の状況

- (1) 崩土箇所：国道 169 号
- (2) 発生時間：令和 5 年 12 月 23 日（土）21 時 00 分頃
- (3) 規模：L=20～30m×H=40m×W=4～5m（約 4,000 m³）

4. 被害の状況

人身・物損共に総数不明。1 名救助確認（50 代男性）。軽自動車 1 台破損。他に車が崩土に巻き込まれている可能性あり。

5. 対応状況

- | | | |
|--------|---------|--|
| 12. 23 | 21:04 | 奈良県広域消防組合が覚知。国道 169 号下北山村大字上池原にて山崩れにより乗用車 1 台が巻き込まれている（不確定）。50 代男性が取り残されている状態。 |
| | 21:15 | 全面通行止を開始 |
| | 23:59 | 奈良県建設業協会に災害対応活動を要請 |
| 12. 24 | 0:09 | 奈良県広域消防組合が救助活動を開始。 |
| | 0:45 | 県道路マネジメント課が報道発表（第 1 報）。12 月 23 日 21:00 頃に崩土を確認し、通行止めを実施。 |
| | 4:18 | 奈良県広域消防組合が 50 代男性を救助し、奈良県立医科大学附属病院へ搬送 |
| | 5:30 | 二次災害発生の恐れがあるため奈良県広域消防組合及び奈良県警察が現地での救助活動中断。 |
| | 8:00 | 近畿地方整備局ヘリ（きんき号）が八尾空港離陸（現地での情報収集）。 |
| | 11:00 頃 | 大西有三京都大学名誉教授（近畿地方整備局任命の道路防災ドクター）と共同で現地確認。 |
| | 13:00 頃 | 法面上部の不安定な土石の除去作業開始。 |
| | 13:30 | 県道路マネジメント課が報道発表（第 2 報）。大西有三京都大学名誉教授により現地踏査を 11 時から実施 |
| | 19:00 頃 | 本日の作業終了 |
| 12. 25 | 8:00 | 本日の作業開始
伐採等準備工 |
| | 16:00 | クライミングマシン現地着 |
| | 18:00 | クライミングマシン吊上完了 |

- 23:00 頃 バックホウの無人化アタッチメント現地着
12. 26 7:00 クライミングマシン作業（北側上部の岩塊除去）開始
- 8:00 無人化バックホウ作業（崩土撤去）開始
- 9:00 北側上部の岩塊除去作業完了
- 9:50 斜面確認を実施
- 10:30 北側の斜面は概ね安全を確認されたことから、斜面監視員を配置して崩土撤去を再開
- ※上部の作業を中断し、崩土撤去を継続
- ※車両発見に備えて消防隊待機

令和5年12月23日の崩土について

①有識者（大西有三 京都大学名誉教授）の見解

1. 今回の事象の原因について

・凍結融解が繰り返し発生したことにより岩盤の強風化部の緩みが進行し、不安定化したことによる崩壊であると考えられる。

2. 応急対応について

・斜面上方の急崖部に残存する不安定岩塊を除去したうえでモルタル吹付を施工し、安全確保最優先で道路に堆積した崩壊土砂の除去作業を行う。

・不安定岩塊の除去は、調整可能であれば無人化施工を使用し、難しい場合は人力で行う。

・崩壊土砂を末端から除去した場合、上方に堆積した土砂が土砂移動により崩壊し、二次災害を起こす危険性があることから、上部より除去作業を行う。

・崩壊土砂の搬出は、崩壊箇所の両側から行う。

・除去作業中に車が見つかった場合、河川に落ちないようにロープで固定したうえで除去作業を行う。

3. 恒久対策について

・現地調査結果を踏まえて、恒久対策工を検討する。

②復旧作業状況

・12月24日13時から斜面上部になる不安定な岩塊の撤去を人力で開始（人力撤去が難しい箇所は、機械作業を検討）

・作業の支障となる防護柵の撤去（12月24日19時頃完了）

・NTTによる支障木の撤去（12月24日19時頃完了）

・不安定な岩塊を撤去するための機械作業（無人）が可能であることを現地確認作業中（12月25日11時時点）

・機械を設置でき次第岩塊の撤去作業開始予定（本日中に開始予定）

※並行して緊急車両の通行が可能となるよう林道サンギリ線の緊急的な修繕を実施（12月25日着手）



令和5年12月23日 崩落概要

延長L=約20~30m・深さW=約4~5m

高さH=約40m・崩壊土砂量V=約4,000m³

③類似箇所の緊急点検

今回の現場と同様に応急復旧後、本復旧が未着手の箇所について、緊急点検を12月24日に職員により実施

（点検箇所）

・国道169号（上北山村白川）、国道310号（五條市上之町）、国道168号（十津川村長殿）、国道168号（十津川村旭）、国道425号（十津川村迫西川）

④今後の方針

・早急に有識者委員会を立ち上げて、原因究明、復旧工法等の検討を進め、工法が決定次第速やかに工事に着手していく。